氏　　名：　川口菫
所　　属：　地域教育文化学部　生活環境科学コース　1年
派遣大学：　ベトナム国家農業大学
派遣期間：　2016年2月22日～2016年3月14日

①日本語教室

日本語教室は一日9:00～10:30、15:00～16:30の二回行われました。ベトナムの学生が少ない時や日本人学生が多い時はチューターを二つに分けて、一日一回教えました。

日本語教室に参加する学生の年齢、人数、レベルは様々だったため、その日その日の状況をみて内容や教え方を変えました。主に「みんなの日本語」というベトナム人学生が持っている教科書を使って授業をするときは、最初にやりたい課ごとにグループ分けをし、一つのグループに日本人が一人か二人つきました。どのグループでもだいたい最初に新出単語を声に出して読み、意味を確認する→本文を声に出して読んだり、意味を確認したりする→実践的な会話や練習問題を解く、という流れで行いました。日本語をほとんど知らない学生には平仮名、カタカナの読み方書き方をゆっくり教え、初級は自己紹介や簡単な挨拶、中級は簡単な会話、上級は丁寧な言葉遣いを用いた会話などを教えました。ベトナム語しか分からない学生や英語が完璧に話せる学生など様々で、教えたり、言いたいことを伝えたりするのは難しかったですが、ジェスチャーを用いたり日本語・英語・簡単なベトナム語を駆使して授業をするのは楽しかったです。

絵しりとりをする時もありました。ホワイトボードに絵を描くか、ジェスチャーを使い教室のみんなでしりとりをしていきます。そこで分からない日本語があった場合は分かる学生がベトナム語で解説し、みんなで盛り上がりました。他にも、それぞれお互いの国の食べ物や音楽、故郷について伝え合ってお互いの国についての知識を深め合いました。

②日本語教室以外の交流

昼ご飯と夜ご飯は日本人とベトナム人のみんなでいつも一緒に食べに行きました。大学の周りのいろいろなベトナム料理を食べ、いつもご飯の後はカフェに行き飲み物やスイーツを食べました。また空いている時間に泊まっている寮にベトナム人の友達が遊びにきておしゃべりしたり、昼寝をしたり、お菓子パーティーをしたりしました。夕方の授業の後には、大きなスーパーやイオンにバスやタクシーで行って、買い物を楽しみました。イオンはできたばかりでとてもきれいで大きく、店内は日本と似ていました。ボーリングをし

たり、お土産を買ったりして、韓国料理も食べました。イオンの他にも街の中でたくさんの日本企業を見つけ、日本企業の進出を感じました。

週末にはハノイセンターやチャンアンに連れて行ってもらいました。ハノイセンターではホーチミンの墓、教会、水上劇などがあり、私は４回行きましたが何回行っても飽きない場所です。チャンアンは雄大な自然がとてもきれいで、みんなでワイワイしながら船に乗るのがとても楽しかったです。ほかにも家に招待してもらってみんなでご飯を作って食べたり、農園に行ったりと毎日がとても充実していました。

③感想

ベトナムで過ごした三週間はとても濃くて一生忘れられない思い出になりました。

日本語を学ぶ学生は日本にとても興味をもっていて、日本語を教える時も日本にについて紹介する時も積極的な姿が印象的でした。私は日本人なので日本語をスラスラ話すことができるからネイティブの発音を聞かせてあげられるという良さはあるけれど、多言語で教える時に言いたいことをうまく伝えられない、うまく伝わっていないときがあり、もどかしく、自分の力不足を感じたのでもっと語学力をつけたいと思いました。

三週間という短い期間で、日本語教室で出会った友達、その友達を通じて知り合った友達など、大切な友達がたくさんできました。ベトナム人は日本人よりも人と人の距離が近く、すぐに仲良くなれました。また頻繁に連絡をみんなと取り合ったりするのが普通だそうです。私もよく行くお店のおばさんと仲良くなって食後に喋ったり、他のお店のおばさんとは道ですれ違うと手を振り合ったりしました。ベトナムのそのような人と人との関係は日本とは少し違って、私は素晴らしいものだと思いました。ベトナム料理は最初口に合うかどうか心配していましたが、どれもおいしくて毎日たくさん食べました。ベトナムに行くまでは、イメージがあまり湧かなくて、発展途上国でバイクがたくさん行き交っているんだろうなとそこまで好印象ではありませんでした。しかし実際に行ってみると、環境も悪くなくて、美味しいものとなにより温かい人であふれ、そこに流れている雰囲気がとても良いものでした。私はたった３週間しかいませんでしたが、ベトナムのことが、ベトナムの人が大好きになりました。またいつか訪れたいです。

④今後の展望

私の今回の渡航目的に視野を広げるというものがあって、実際に広がり新たな自分を発見することもできました。これからはそれをどう生かすか考え、無駄にしないことが大事だと思います。また、自分の語学力の未熟さ、学ぼうとする意力の低さを感じたので、英語・他の言語の習得を目指したいです。

そして日本人として恥のないように日本のことをもっと知ることをわすれないようにしたいです。